



白樺並木（音更町）

# 道経連会報 No.296 CONTENTS

巻頭言	1
2025年 日本国際博覧会	2
2024年度 経済講演会	8
2024年度 次世代経営人財ゼミ 特別編	19
北海道経済記者クラブとの懇談会	27
地域会員懇談会（石狩・苫小牧）	28
常任理事会レポート	30
会員企業紹介	35
会員の異動	37
新会員企業紹介	38
グループ活動報告	39
太宰府から梅の便り	55
北海道の経済動向	56
人事・労務相談日	58
道経連カレンダー	61
わがまち紹介（音更町）	62



北海道経済連合会 常任理事

**木山 邦樹**

日本甜菜製糖株式会社

取締役専務執行委員札幌支社長

## 北海道が好きで… 思へば遠くに来たもんだ…

大阪堺の三国ヶ丘高校卒業後、2回目の試験でようやく受かった北海道大学農学部を卒業、現場が北海道の企業（日本甜菜製糖株式会社）に入社すると家族に伝えて、返ってきた岡山のおばあちゃんの言葉が、「テレビ見ていたら、熊が民家に入り冷蔵庫を開けて酒飲んでたと…、そんなところに就職するのか?」（そういえば、知床羅臼町でそんなことがあったような…、最近も結構あるよね…、そういえば北大熊研の連中が活躍しているなあ、やっぱり北海道は大自然に抱かれてるなあ…）

あれから、40数年…、思へば遠くに来たもんだ…

大学では、何の因果か、恵迪寮、応援団、体育会とおおよそ、勉学のべの字にも接せず、予備校時代からの友人ほかに助けられ4年間で卒業、ほぼ欠席したゼミの恩師故太田原高昭先生のおついでで入社。太田原さんからは「現場があるから日甜はいい会社だ」の一言。

ただし、大学は本当に好きだった…、北海道大学が好きで、応援していた…

思い返すと、ずっと「人の出会い、巡り合わせ、つながり」でやってきたような…

## 人の出会い、巡り合わせ、 つながり、そして、役割分担

新任地の音更では、今はない北海道フィルムアート社の深津修一さん（現株式会社プリズム名誉会長）にお世話になり、「野のユリ」（シドニー・ポワチエ主演）の自主上映会を開催、帯広市内在住諸先輩と出会い…、洗濯船の故佐野まさのさん、緑青舎の故田守純子さん、中札内ライディングクラブの故山口佳男さん、音更町更生地区の故石川和雄さん…いろんな方々と出会い、お世話になり、少しは成長したのかなあ、恩返しが出来ているのかなあ…

北大卒業後音信不通の不義理を重ねていた故太田原さんと、仕事で赴いたJAところでバツリと出会い、「…ともあれ、木山は不肖の弟子です…」と言ってくれたことが、その後小野寺俊幸さん（前JA北海道中央会会長）との長い仕事・個人のお付き合いになるとは…。

## 情けは人の為ならず

ある研究会で、挨拶しろということで、「恩師故太田原高昭先生に、就職時に戴いた言葉が、『札幌農学校に入り、寮で生活し、農業経済を学び、糖業に進んだ者は新渡戸稲造のほか、数人しかいない。君も励め!』と喋ると、円卓の向こうで優しい眼差しで手招きしている方が、「ところで、君は北大農経の出身か?」と聞かれたのが運の尽き、昨年11月に北海道功労賞を受賞された札幌農学同窓会理事長松井博和さん（北大名誉教授）で、どっぷりと同窓会、そして新渡戸稲造の関係で捉まり、今は一般社団法人新渡戸遠友リビングラボ（NELL）の活動に参加しております。

会社では、障がい者の社会参加の支援（農福連携担当）や日甜アグリーン戦略（図1 パーパスと図2、3 ポンチ絵参照）の担当などをしております。

NELLの活動も新渡戸はSDGsの先駆者ということで、同じようなことに携わり、結局、北海道

### OUR PURPOSE

わたしたちのパーパス

企業が何のために事業を進め、  
社会にどう貢献していくのかを明文化したパーパスを制定。  
この思いのもと、アグリーン戦略も実践していきます。

畑から、食卓へ。

てん菜から広がる可能性を見だし、  
人と環境にやさしいものづくりで、  
北海道、そして日本の未来に貢献します。



（図1：日本甜菜製糖株式会社 パーパス）



それは、常識にとらわれないアイデアに挑むプロジェクト。

人の健康のため

農業・酪農のため

地球環境のため

（図2：日甜アグリーン戦略ロゴ）

てん菜にできることは、  
まだまだありそうです。

てん菜からつくるのは、砂糖だけじゃない。  
パンの発酵を助けるイーストや、  
牛のエサにだってなる。  
樹脂や燃料など、食べもの以外にも化けていく。  
畑では、てん菜のCO<sub>2</sub>吸収力が注目される。  
これまでのニッテンの成長は、  
地域と農業なしではありえないもの。  
いかにして、恩返しできるか。  
合言葉は、アグリーンだ。  
研究と情熱で、さあ、まだない価値をつくりだそう。

（図3：日甜アグリーン戦略概要）

が好きで北海道の応援をしている、学生時代から何ら変わっていないなあ…

『情けは人の為ならず』かなあ…と、この頃想う毎日であります。